

《資料》

わが国における外国少年法制の研究文献

酒 井 安 行

はじめに

本資料は、科研費の補助を受けて着手された「少年法の比較法的研究」（代表 沢登俊雄教授）の作業の準備の一環として戦後のわが国における外国少年法に関する研究文献を国別に列挙したものである。また文献数の多い諸国については、極めて粗雑ながら一応分野毎に分類した。さらに、諸文献は、原則として年代順に配列してある。

ただ、短期間に作成したためもあるが、文献の検索がかなり雑であり、遺漏等も多いことを恐れる。とりわけ、1966年以前の文献については、殆どアト・ランダムに近いことをお断りしておかなければならない。ただ、幸いなことに、この時期の文献については、宮沢浩一編『世界諸邦少年法制の動向』1968、鳳舎）巻末に周到な国別の文献一覧が掲載されているので、そちらをも参照して頂きたい。また、筆者の不勉強のため、必ずしも「少年」とか「非行」とかの題名がついていないもの（「……国における矯正・処遇・更正保護」等々の題名のもの）で、少年法に関する叙述のあるものが多く漏れているものと思われるが、これらをも含め、前記研究会メンバー諸氏の御助言により補充・訂正させて戴いた。

なお、文末に簡単な目次と文献略語表を付した。

〈アメリカ〉

〔総論〕

～66

最高裁事務総局家庭局編刊『アメリカ少年裁判所の事務処理の実際について
(家庭裁判資料19)』

沼辺愛一「アメリカ少年法制(1～2・完)」家月12.6～7

山口 透「米国における少年保護の理論と実際(1～2・完)」家月13.4～5

鈴木喜重郎「R.パウンドの少年法理論」法学新報73.5

松尾浩也「アメリカにおける少年法の動向」ジュリ350

67

松尾浩也「Juvenile Delinquents, The Police, State Courts, and
Individualized Justice, 79 Harv. L. Rev. 775, 1966」アメリカ法'67.1

松尾浩也「少年裁判とデュー・プロセス——連邦最高裁判所の新判例」ジュ
リ378

田宮 裕「アメリカにおける少年手続の改革——ケント事件およびゴールト
事件をめぐって」自正18.11⇒「家裁資料93」

68

菊田幸一「ゴールト判決と米国少年裁判所基準」ジュリ403

松尾浩也「最近におけるアメリカ少年手続の動向について」家月20.5⇒「家
裁資料93」

松尾浩也・菊池和典「ジェラルド・フランシス・ゴールト事件」家月20.5⇒
「家裁資料93」

70

松尾浩也「少年法と適正手続」ジュリ464⇒『少年法改正』

松尾浩也「少年法改正における日本とアメリカ」法時42.13⇒（「少年法改正
の論点と批判（特集）」）⇒『少年法改正』

71

亀山継夫「少年事件の司法前処理（上下）」警論24.7～8

亀山継夫「少年事件におけるデュープロセスと手続構造——アメリカと日本における改革の動向」ジュリ480⇒『少年法改正』

松尾浩也「少年法に関する連邦最高裁の新判例〔1971.6.21〕」判タ22.12⇒「家裁資料93」

松尾浩也「少年法に関する連邦最高裁の新判例—付マッキーバー事件判決（1971.6.21全文）（高井吉夫訳）—」家月24.7⇒「家裁資料93」

72

松尾浩也「少年法における適正手続」家裁資料93

鈴木茂嗣「刑事法学の動き（書評）」法時44.11

亀山継夫「少年事件におけるデュープロセスと手続構造——アメリカと日本における改革の動向」ジュリ480

木村栄作「少年法の理念——国親思想と適正手続との関係」警研43.2

法務省刑事局訳「ニューヨーク州青少年法（資料）」家月24.6

←『少年法改正資料・7』

田宮 裕「アメリカの少年法と日本の少年法」ケ研126（「少年法50年（特集）」）

木村栄作「少年法の理念——国際思想と適正手続との関係」警研43.2

田宮 裕「少年審判とデュープロセス——その意義と限界」家月24.12

73

菊田幸一「カリフォルニアにおける少年法改正の現況」法時45.9

青山邦夫「ニューヨーク市少年法制の現状——ニューヨーク・タイムズ紙を読んで」ケ研139

74

平場安治「少年法における保護主義と適正手続」家月26.7

75

渡辺則芳「米国少年裁判所におけるパレンス・バトリエとデュープロセス」早大法研論集11

菊地和典・島津一郎「Joseph Goldstein, Anna Freud & Albert J. Solnit, Beyond the Best Interests of the Child」アメリカ法1976-2

「少年法改正をめぐる諸問題（特集）」刑法雑誌18.3,4

森下 忠「まえがき」

柏木千秋「少年法の位置づけについて」

阿部純二「保護と刑罰／1つの概観」

団藤重光「適正手続の理念について」

鈴木茂嗣「少年審判と適正手続」

荘子邦雄「少年法の理念と国親思想」

沢登俊雄「年齢層の設定について」

斉藤豊治「アメリカにおける少年司法改革の方向」平場還暦記念『現代の刑事法学（下）』所収

高橋貞彦「ニューヨークの少年法（ニューヨーク家庭裁判所法第711条—第784条）」近大法学26.2

荒木伸怡「少年審判手続と適正手続の保障」『英米判例百選Ⅰ』所収

高橋貞彦「テキサスの少年法（テキサス家族法第三編）— 1 —」近大法学26.4

前田忠弘「少年審判手続における弁護権保障と対審構造化」法と政治30.1

渡辺則芳「パレンス・パトリエ思想の再検討」比較法制研究 4

松田 清「米国ワシントン州における新少年法」家月32.6

西川正和「テキサスの刑事司法機関を訪ねる」犯非45

斉藤豊治「アメリカの少年司法——非公式的处理（diversion）」「関西非行問題研究会編『非行克服の現場と理論』所収

渡辺 尚「最近における米国少年法制の動向（上一下）」ジュリ760,762
83～87

斉藤豊治・前田忠弘「合衆国少年司法に関する資料—ディバージョンを中心に〈1～9〉」甲南法学23.3/4,24.4,25.1～3/4,26.1,27.1,2,28.2

84

菊田幸一「世界の少年法——アメリカ」『少年非行（法学セナー増刊）』所収
瀬木比呂志「米国ワシントン州新少年法の背景とこれに基づく手続の実情」
家月36.11

米里秀也「米国インディアナ州の新少年法について」家月36.5

尾田清貴「カリフォルニアにおける少年の司法手続」JCCD29

サザランド, クレッシー／平野, 高沢『アメリカの刑事司法』

85～86

中央大学犯罪学研究会『アメリカ犯罪学の基礎研究』

(7)ステイタス・オフュンス 比雑19.1

(9)保護院 比雑19.3

(10)パレンス・パトリエ, 青少年動員計画事業団 比雑19.4

87

森田明「青少年の人権とパターンリズム—アメリカ少年司法の場合—」ジュ
リ884

守山正「犯罪を犯したとされる少年の判決前拘禁を規定するニューヨーク州
家庭裁判所法は第14修正に違反しない」アメリカ法1987.2

88

横山実「アメリカにおける少年司法システムの変革」国学院法学26.1

〔審判・裁判〕

～66

最高裁事務総局家庭局編刊『米国標準少年裁判所法（1949年改正）〔家庭裁
判資料28〕』

中川 衛『米国における少年裁判所審理の合憲性』司法研究報告書3.7

H. S. イートン「アメリカ少年法の理念」衆望5.9

団藤重光「米国の少年裁判所」法律タイムズ1.8

アルパー・ベネディクト, 鮫島竜男訳「ユース・コートの現在及び将来」家
月4.7

『米国少年専門裁判所基準』家庭裁判資料37号

ソル・ルビン, 最高裁事務総局家庭局「州少年裁判所——新しい標準」家月
6.11

沼辺愛一「米国少年裁判所関係判例集（第1部1～16・第2部1～10）」家
月7.9～9.10

森田宗一「少年を取り扱う専門裁判所の機能と限界——アメリカにおける
1954年の基準を中心として」家月8.4

最高裁事務総局家庭局「米国ニューヨーク州青年裁判所法」家月8.10

近藤綸二「少年裁判所の1つの悩み——1954年米国少年専門裁判所基準を通
して」家裁11.1

宮原三男「米国における青年非行者の審判制度——青年裁判所について（1
～2・完）」家月12.4～5

沼辺愛一「米国における少年裁判所の審理に関する諸問題——社会化された
手続と正当な法の手続との関係を中心として（1～2・完）」法時29.8,10
『米国標準少年裁判所法』1959年改正（家庭裁判所資料71号）』

宮原三男「米国の少年裁判所制度について（1～2・完）」法律論叢34.4～5

宮原三男「米国の青年裁判所について」法学新報66.6

宮原三男「米国の青年裁判所について」林追悼（刑事法学論集）

羽山忠弘「ラムベス少年裁判所視察の記」警察14.3

森田宗一「少年を取扱う専門裁判所の機能と限界——アメリカにおける1954
年の基準を中心として」刑政（季）6.1

宮原三男「米国における青年非行者の審判について——年長少年の取扱の問題」法律論叢33.2

草野隆一「アメリカ少年裁判所の現況と動向」曹時17.10

レクター, M. G. 他(元木 伸訳)「少年裁判所の手続と証拠」家月18.1
67

俵谷利幸訳「グォルト事件判決——アメリカ少年裁判所手続の問題点と改革
の方向を理解するために—1～3 完—」警察学論集20.10,11,12

黒川 慧紹介「十年後のアメリカの少年裁判所」レファレンス17.1

『自由社会における犯罪の挑戦(1)』法務総合研究所研究資料21

68

宮崎 昇「アメリカにおける少年裁判所法の改正論議——続少年法の動き」
ひろば21.3

安川道夫・飛田清弘訳「少年に関する司法の運営(1967年米大統領諮問委員
会特別報告)——少年裁判所およびこれに関連した少年非行抑利の方法—
1～8 完—」警察学論集21.5,21.6,21.9,21.10,21.11,21.12,22.1,22.2

菊田幸一「アメリカ少年裁判所の動き——宮崎判事の論文を読んで」ひろば
21.6

菊田幸一「ゴールト判決と米国少年裁判所基準」ジュリ402

菊田幸一「アメリカにおける少年裁判所の現況と動向——ゴールト判決を中
心として」判タ19.10

69

菊田幸一「少年裁判所のための規範規則 Model Rules For Juvenile Co-
urts (NCCD・1969年版)について」ジュリ430

黒川 慧「アメリカ少年裁判所の危機」レファレンス19.7

70

田宮 裕「Ketcham & Paulsen ; Cases and Materials Relating to
Juvenile Courts, 1967」アメリカ法1970.1

菊田幸一訳「米国少年裁判所規範規則 (Model Rules for Juvenile Co-
urts)」家月22.5

全米犯罪非行協会内裁判官協議会(菊田幸一訳)「少年裁判所模範規則 (Mo

del Rules for Juvenile Courts) [1969年] 法律論叢43.2,3

黒川 慧「アメリカの非行少年の眼に映った裁判官（海外情報）」青少年問題17.4

71

合衆国保健、および福祉局（William H. Sheridan編）（菊田幸一訳）

「米国少年および家庭裁判所基準（1966年改正）—1,2—」家月22.11,12

72

佐々木平伍郎「家庭裁判所の法的性格——アメリカのファミリー・コート（Family Court）論との比較制度論的一考察—1～3 完—」判時674, 675,677

鈴木茂嗣「少年審判手続の『刑事訴訟化論』について」家月24.6

高井吉夫「附添人制度と適正手続について——米国の弁人制度との比較検討による」（「少年法改正をめぐる最近の論点（特集）」）判タ24.5

73

松尾浩也「アメリカ合衆国における少年裁判所運動の発展——日本への影響を中心に」アメリカ法1973.2

松尾浩也訳「合衆国保健教育福祉省児童局・家庭少年裁判所法の立法指針」少年法改正資料17

最高裁家庭局法制審議会「イリノイ州少年裁判所法—法制審議会少年法部会関係資料」家月25.2

高井吉夫「アメリカにおける少年裁判制度の動向——ゴールト判決その後」ケ研143

74

松尾浩也「アメリカ合衆国における少年裁判所運動の発展——日本への影響を中心に」（「アメリカ法」（1973.2）から転載）家月26.6

75

全米少年裁判所裁判官協議会刊 名古屋家庭裁判所輪読会訳「新任の少年裁判所裁判官のための手引き1.2」家月27.10,11

76

渡辺則芳「米国少年裁判所における弁護士役割」早稲田法学会誌26

77

小川太郎「カリフォルニア少年裁判所法の改正」刑政88.6

講演 穂積陳重「米国ニ於ケル小供裁判所〔明治40年9月1日発行 法学協会雑誌第25巻9号所載〕」法の支配30

萩原 滋「少年裁判所において犯罪事実の存否に関する審判を受けた少年を、その後通常の刑事裁判に付することは、憲法修正第5条の二重の危険条項および第14条の適正手続条項に違反する〈アメリカの刑事新判例紹介11〉」判タ346

79

黒川 慧「アメリカの少年裁判所の新たな展望（海外情報）」青少年問題26.1

81

黒川 慧「アメリカの少年裁判制度と教育家の役割（海外情報）」青少年問題28.12

上野芳久「少年被疑者の保護観察官面会要求を容れずに採取した供述はミラソダ法則に反するか〈アメリカ刑事新判例紹介52〉」判タ427

高橋貞彦「モンタナ州の少年法(1)——モンタナ青年裁判所法」近大法学28.1

83

原田晃治「米国ワシントン州の少年審判手続について」家月35.6

84

加藤曜子「サンフランシスコ少年裁判所見聞記」ケ研201

チャンドラシリ フェルナンド「少年裁判所の起源について—1, 2 完—」警研55.5,6

85

水口芳壽「デンバー便り(2)——コロラド州裁判所制度及びデンバー少年裁判所プロベーション部の概要—」家月37.8

87

吉武雅人「アメリカ合衆国の少年裁判における最近の話題(1)——インテーク及び被害弁償制度」家月39.8

吉武雅人「アメリカ合衆国の少年裁判所における最近の話題(2) アメリカ合衆国ユタ州の少年裁判所」家月39.9

奥村正雄「M. A. Bortner, Inside a Juvenile Court : The Tarnished Ideal of Individualized Justice <著書紹介>」アメリカ法1987.1

〔処遇〕

～66

ジェイムスV. ベネット, 朝倉京一訳「アメリカ連邦の青少年矯正プログラム」刑政62.6

ジェイムス・ベネット「連邦青少年矯正法の運営」刑政63.2

〔座談会〕「米国の少年矯正」刑政64.3

ロイドW. マッコークルほか平野竜一・樋口幸吉訳『ハイフィールズストーリー——非行少年処遇の新しい実験』

H. G. スターク「重度非行者の施設収容に代わるもの——カリフォルニア・ユース・オーソリティの実験」家月16.6

波多野二三彦「青年犯罪者の処遇——シカゴ市とカリフォルニア州における試み」警察14.12

宮原三男・中村昶兆「アメリカ法律協会模範青少年矯正委員会法」法律論叢33.1

宮原三男「米国の少年法制の発達と青少年矯正委員会制度について」法律論叢34.1

宮原三男・中村昶兆「ミネソタ青少年矯正法〈訳〉」明紀要2

宮原三男・中村昶兆「連邦青少年矯正法（米国）〈訳〉」明紀要2

スターク, H. G. 「重度非行者の施設収容に代わるもの——カリフォルニア・ユース・オーソリティの実験」家月16.6

菊田幸一「カリフォルニアにおける少年非行とプロベーションの現況」家月

18.7

68

打田茉莉「非行少年の処遇についての試み——ワシントン DC のプロベーション・ハウス等」犯罪心理学研究5.2

77

鈴木一久「アメリカにおける非行少年処遇の動向」刑政88.2

T. パーマー, 杉原鎮雄（訳）「カリフォルニア青少年委員会の社会内処遇実験」更生保護と犯罪予防37

81

村田正子「カリフォルニアの青い空——カリフォルニア少年矯正事情雑感（海外見聞記）」刑政92.1

82

生田典久「少年の家庭歴を減刑理由に考慮しない死刑判決の違憲性——米最高裁判決」ジュリ764

藤本哲也「少年犯罪者代用処遇制度」小川古稀祝賀論集『刑事政策の現代的課題』収集

菊田幸一「米最高裁における未成年者への死刑判断（判例研究）」法律論叢55.2=3

佐藤欣子『ジュビナイル・ジャスティス——非行前及び非行後の措置』ジュリ730

黒川 慧「アメリカの暴力犯罪少年処遇計画（海外情報）」青少年問題29.12

83

斉藤文夫「米国における少年矯正の最近の動向——1975年米国少年矯正施設全国調査による——1,2—」刑政94.1,3

黒川 慧「カナダ・オンタリオ州の少年矯正事情（海外情報）」青少年問題30.1

鈴木義男「少年矯正の新しい試み——ヴィジョン・クwestを考える（刑事法ノート—46—）」判タ34.15

小畑耕一（編）『トラブルド・キッド西へ——非行少年を乗せた現代の幌馬車隊』

85

斎藤豊治「少年の処遇を受ける権利—アメリカ合衆国における現状—」関西
非行問題研究10

黒川 慧「アメリカの暴力犯罪少年の処遇の一事例」青少年問題32.7

〔施設〕

～66

中川 衛「少年収容施設に関する米国の判例を通して」刑政62.9

波多野二三彦「米国の少年院」刑政74.3

70

黒川 慧「米国における少年の刑務所拘置の是非」青少年問題17.8

副島和穂「少年院の処遇効果について——日米少年院の成行調査の比較」ひ
ろば26.3

75

大住猛雄「カリフォルニア州の少年院における分類処遇に関する研究〈海外
刑政思潮25〉」刑政86.12

76

佐藤晴夫「アメリカの少年院（1—2）」九州矯正298,299

松下照雄「米国における少年院収容者の法的地位〈海外刑政思潮36〉」刑政
87.10

77

斎藤豊治「マサチューセッツ州における少年院改革と社会内処遇への転換」
甲南法学17.2,3

79

小林一志「マサチューセッツ州における少年院の廃止とその後の処遇」更生
保護と犯罪予防14.2

82

斉藤豊治「ニュージャージー州立青少年刑務所（ボーデントウン）を訪ねて」犯非52

徳岡千別「カリフォルニア少年矯正施設瞥見（海外矯正事情）」刑政93.6

84

来栖宗孝「壮大な実験の総括一上，下一少年院閉鎖10年の経験」犯非61,62

86

高橋貞彦「アメリカの少年院の不服申し立て手続——カリフォルニア州立の少年収容施設で適用される不服申し立て手続」刑政97.8

87

高橋貞彦「施設被収容者の不服申し立て手続(1)——カリフォルニア州立の少年収容施設で適用される不服申し立て手続」近大法学35.1=2

〔非行対策ほか〕

～66

警視庁総監室広報課訳編「ニューヨークにおける青少年保護育成運動」自警35.11

斎藤 勇「アメリカの少年警察の実情」衆望5.9

中尾文策「アメリカの少年犯罪対策」刑法2.3

黒川 慧「アメリカにおける少年非行の問題点」青少年6.12

市岡典三「アメリカにおける青少年深夜外出禁止条例の実施状況」青少年7.2

市岡典三「ニューヨーク市におけるボーイズ・ギャングの生態」青少年7.9

黒川 慧「アメリカの少年非行抑制法案」青少年9.1

黒川 慧「シカゴの黒人地区の青年犯罪」青少年10.8

黒川 慧「統計からみた米国の少年非行」青少年12.12

黒川 慧「最近10年間の米国児童局非行対策活動」青少年12.4

村田宏雄「タバン『少年非行論』1949〈紹介〉」刑法雑誌3.4

伊福部舜児「アメリカにおける非行防止計画の動向」犯罪学年報2

黒川 慧「1961年少年非行及び青少年犯罪抑制法の効力を延長する法律（アメリカ）」外国の立法20

梶谷 広「米国における少年非行と警察（上・中・下）」警察10.10,11.2,5

黒川 慧「米国の十代の飲酒と法律」青少年問題12.10

67

西村春夫「シカゴの青少年非行防止計画と日本の場合— 1, 2 —」犯罪心理学研究4.2,5.1

68

井上公大訳「アメリカの少年非行（資料）」家月20.6

69

山口 透「米国における非行防止活動の系譜」家月21.3

71

アクセルロット夫妻・ビクスビー夫妻・長島敦・阪井満・田村達夫「ハイフールズをめぐる（座談会）」罪罰8.1

72

村上尚文「ヴッズ「非行と少年文化——上流，中流階級少年」（紹介）」罪罰9.2

77

恒川京子「アメリカの BBS 活動」犯非33

80

伊佐千尋「強姦少年（アメリカ裁判紀行）」潮252

C. R. Jefferyy著，藤本哲也訳「犯罪と少年非行の予防」比雑14.2

警察大学校資料主幹付外国資料係「ナシビル首都警察の少年警告呼出しカード——少年非行の増加に悩む米警察〈海外警察資料〉」警察学論集33.7

81

黒川 慧「米連邦政府の非行防止計画立案体制（海外情報）」青少年問題28.3

C. R. ジェフリー，藤本哲也（訳）「犯罪と少年非行の予防」比雑14.2

米倉 明「子どもの虐待（1—2）」法学教室10,11

82

上原正夫「ニューヨーク市における少年非行とその対策〈英米法律事情〉」
判タ466

83

萩原康生「世界の少年問題—1—アメリカの校内暴力」犯非56

84

黒川 慧「米国連邦政府非行防止政策の推移」青少年問題31.3

85

黒川 慧「統計からみたアメリカ・カリフォルニア州の犯罪と非行」青少年
問題32.1

山口悦照, 佐々木清「落ちこぼれ青少年の非行——対策と教育制度の改善」
(Kenneth Polk, “The New Marginal Youth”——Crime & Delinquency, July 1984, Vol. 30. No. 3) 犯罪心理学研究22.2

黒川 慧「アメリカ少年少女の売春」青少年問題32.5

〈カナダ〉

67

黒川 慧「カナダの非行少年法の諸問題」レファレンス17.9

76

黒川 慧「カナダの非行少年法改正問題（海外情報）」青少年問題23.9

80～

黒川 慧「カナダの少年裁判」青少年問題28.1

黒川 慧「カナダ, オンタリオ州の少年矯正事情」青少年問題30.1

黒川 慧「カナダにおける少年警察活動の一事例—上—」青少年問題31.7

黒川 慧「カナダにおける少年警察活動の一事例—下—」青少年問題31.8

村井衡平「カナダ各州の家庭裁判所」神戸学院法学16.3=4

86

木村裕三「カナダの少年裁判制度」名城法学35.2

黒川 慧「カナダの少年非行と防止対策」青少年問題32.6

〈イギリス〉

〔総論〕

～66

司法大臣官房保護課編刊『英国のボースタル・システム，少年犯人の教化施設（司法保護資料35）』

ジョン A. F. ワットソン，最高裁判所事務総局家庭局『英国の少年裁判所（家庭裁判資料12）』

鈴木忠五「英国に於ける青少年犯罪者の処遇について（資料）」法学新報57.11

中村 護「英国の児童少年法および裁判規則——附・少年裁判所構成規則（1～2・完）〈訳〉」家月10.5～6

宮原三男「英国の青少年保護制度——非行のある青少年の審判と処遇（1～2・完）」家月13.7～8

黒川 慧「イギリスの刑事裁判法案——少年犯罪者の裁判と処遇の改革」レファレンス123

黒川 慧「イギリスの児童・少年に関する委員会の報告書——裁判と処遇を改正する勧告」レファレンス124

黒川 慧「英国の未成年者の犯罪——その処理状況と法制」家月18.6

67

藤田初太郎「イギリスにおける成人年齢引き下げの勧告」レファレンス17.10

木村裕三「スコットランドの少年裁判所制度」矢野遷厝記念論文集『現代における法と行政』所収

74

柳本正春「英国の新児童少年法一上，下一」警研44.12,45.1

桑原洋子「イギリスの少年裁判所ならびに非行少年処遇施設の見学」家月26.1

F. T. ジャイルズ著，児島武雄（訳）『イギリスの刑事裁判』

小川太郎訳および解説「1969年イギリス児童および少年法」家月26.6

（法務省刑事局編・少年法改正資料11号より転載）

75

木村裕三「イギリスの少年犯罪者処遇の実情とそれに対向する刑事責任理念
の諸問題」名城法学論集 2

76

桑原洋子「イギリスにおける少年連絡官制度」少年補導238

77

木村裕三「イギリスにおける少年犯罪者処遇の改革と刑事責任について」大
憲論叢15.1,2

菊田幸一「イギリスにおける非行少年取扱の実際と課題——1969年児童およ
び少年法とその後の現況— 1 ～ 3 —」法律論叢50.1,2,3

78

三田地宣子「イギリス児童保護制度の系譜(1)——救貧法下の 児 童」，同「イ
ギリス児童保護制度の系譜(2)——救貧法からの解放と国家責任の成長」時の
法令1000,1002

79

黒川 慧「1978年児童保護法〈立法紹介／イギリス〉」外国の立法18.2

80

黒川 慧「イギリスの要保護事件処理手続きの矛盾（海外情報）」青少 年 問
題27.7

81

瀬川晃「イギリスにおける犯罪者処遇と犯罪学の現状と課題」刑法24.2

83

木村裕三「英国少年裁判制度をめぐる司法モデルと福祉モデルの対立」名城
法学33.1

85

木村裕三「David P. Farrington, (hapter 3 England and Wales, in Malcolm W. Klein (ed.) Western Systems of Juvenile Justice. Sage Publications (1984), 71~95pp [紹介]」名城法学34.4

吉田卓司「少年法と教育・福祉—イギリス1969年児童少年法における要保護性および教育法との関連—」関西非行問題研究10

瀬川 晃「イギリス犯罪学の動態」犯罪社会学研究 7

桑原洋子『イギリス児童少年保護立法の研究』

〔審判・裁判〕

~66

山口幸男「英国の少年裁判所〈訳〉」調研紀要 3

黒川 慧「スコットランド少年裁判所廃止の提案」青少年問題11.8

71

黒川 慧「イギリスの少年裁判所の将来」青少年問題18.4

73

桑原洋子「イギリス少年裁判所の訴訟手続とその権限——W. E. Cavenagh によるその福祉の理念の展開について」社会学部論叢 7 (花園大学)

77

桑原洋子「イギリス少年裁判所の認定手続における福祉的理 念 の 導 入 (資 料)」花園大学研究紀要 8

桑原洋子「イギリス少年裁判所におけるソーシャル・ワーカーの役割」犯罪 31

関 隆広「イギリスの Court Welfare Officer の調査記録の紹介」調研 紀要30

78

桑原洋子「イギリスにおける少年裁判所制度の発達」関西非行問題研究 3

80

木村裕三「英国少年裁判制度のジレンマ——1969年児童少年法の実施に伴う

諸問題」名城法学29.1/2

82

沢登俊雄「最近の少年法研究の動向（刑事法学の動き）」法時54.1

木村裕三「スコットランドの少年裁判制度——チルドレンズ・ヒアリング
スを中心として」（名城・別冊「現代における法と行政」（1981年9月）

83

木村裕三「北アイルランドの少年裁判制度（川中藤治教授還暦記念論文集）」
名城法学32.3=4

〔処遇〕

55

関沢元弘「英国における少年保護機関について（1～2・完）」警研26.6～7

56～

宮崎 昇「英国におけるボースタル制度」家月8.1

宮原三男「イギリスにおける非行少年の処遇」法律論叢33.6

柳本正春「英国における非行少年の処遇」ジュリ346

鈴木喜重郎「英国少年法と保護観察制度（1～2・完）〈資料〉」新報70.6～7

66

柳本正春「英国における非行少年の処遇」ジュリ346

75

野村幸雄「英国における青少年犯罪者の処遇について」公聴26

坂田 仁「英国の懲治湯（House of Correction）について—1—」法研
48.6

沼野輝彦「少年処遇に関する保護主義と刑罰主義——ボースタル訓練の矯正
効果についてのフィールドノートから」日本法学40.1

76

桑原洋子「イギリス少年裁判所における福祉的処遇の実態（資料）」花園大
学研究紀要7

桑原洋子「イギリスのボースタルにおける矯正教育とコミュニティ・サーヴィス」犯非28

78

桑原洋子「イギリスにおける非行児童少年処遇制度の変遷（資料）」花園大学研究紀要9

79

桑原洋子「イギリス少年裁判所におけるいわゆる『児童』の処遇」（山田無文，荻須純道，稲岡順雄三教授退職記念号）」花園大学研究紀要10

黒川 慧「イギリスの犯罪青年処遇の新動向—上，中，下—（海外情報）」青少年問題26.10,11,12

81

大谷 実「イギリスにおける少年犯罪に対する司法的処遇」罪罰18.4

桑原洋子「イギリス少年裁判所における犯罪行為の処理と予測表（資料）（赤坂一，木村静雄二教授退職記念号）」花園大学研究紀要12

83

萩原康生「世界の少年問題—3—消えたイギリスのボースタル」犯非58

87

木村裕三「ゴズランド，フィールディング「イギリスの重大犯罪を侵した少年の処遇」（紹介）」名城法学36.3

菊地和典（訳）「グラハム W. スミス「イングランドにおけるプロベーション制度と少年非行の現状」」ケ研207

〔施設〕

74

桑原洋子「イギリスの少年裁判所ならびに非行少年処遇施設の見学」家月26.1

76

佐藤一男「英国における少年矯正施設の現状と将来」犯非28

77

桑原洋子「イギリスにおける非行児童少年処遇施設の統合と福祉化——コミュニティ・ホーム・プロジェクト」少年補導256

81

寺崎弘昭「19世紀イギリスにおける少年分離監獄の成立——「矯正」思想とその子ども観」教育学研究48.3

85

桑原洋子「フェルサム・ユース・カストディ・センター——イギリスにおける新設犯罪青少年処遇施設の見学」犯非66

〔非行対策ほか〕

～66

山根清道「ケンブリッジ・サマビル少年研究会の「非行予防実験」について

(1) 家月6.9

黒川 慧「英国の児童・家庭・犯罪少年白書」青少年12.11

柳本正春「英国における「少年非行と警察」」警察19.6

関沢元弘「英国の少年警察」警察7.12

74

黒川 慧「イギリスの少年薬事犯と取締立法」青少年問題21.4

81

黒川 慧「イギリスの犯罪青少年白書と問題点（短報）」レファレンス366

関 力「ロンドンの性教育・スコットランドヤード・プロベーション」大東法学8

82

沢田直子「イギリスの少年非行」刑政93.5

84

黒川 慧「イギリスの犯罪少年に対する警察の処置」青少年問題31.2

黒川 慧「ロンドン首都警察の少年の扱い方の変遷（上，下）」青少年問題

31.11,12

〈西ドイツ〉

〔総論〕

～66

山高章夫「西ドイツの年少者補導立法」レファレンス32

フリードリッヒ・シャフシュタイン, 吉川経夫訳『ドイツ少年刑法 (法務資料371)』

仲山順一「西独における未成年者保護立法をめぐって」警察7.12

阿部純二「西ドイツの少年刑法 (1～2・完)」家月14.11,15.4

波多野二三彦「西ドイツ少年法に関する 2, 3 の問題」法時29.8

宮沢浩一「西ドイツ少年法の現状と将来」ジュリ342

宮沢浩一「西独における年長少年法制の問題点」家月17.5

67

宮沢浩一「少年拘禁 (Jugendarrest) について——その法的性格を中心として」法研40.6

宮沢浩一「フリードリッヒ・シャフスタイン著『少年刑法』1966」法研40.10

武安将光「少年法改正問題と西ドイツ青少年法制の適用状況—上, 下—」ひろば20.7,20.8

68

阿部純二「西ドイツ少年刑法における行為者主義と行為主義」家月20.7

斉藤豊治「ドイツ少年法制の展開に関する一考察」法学論叢84.4

70

宮沢浩一「刑事法学の動き」法時42.12 (斉藤豊治「ドイツ少年法制の展開に関する一考察」法学論叢84.4)

72

宮沢浩一「ドイツ少年法制の展開過程——フロイデンタールの寄与を中心として」家月24.7

73

石田幸平「青少年の成熟と犯罪に関する発達心理学的研究——ドイツ少年裁判所法における責任能力の成熟基準を中心として— 2 —」犯罪心理学研究
10.1

75

ハンス・ヨアヒム・シュナイダー、宮沢浩一（訳）「西ドイツの少年犯罪の
現況と法改正の状況について」家月27.4

76

鄭 鐘勗「ハンス・ハイナー・キューネ・宮沢浩一（共訳）『日本少年法』
（書評）」法研49.5

77

宮沢浩一「ハンス・ヨアヒム・シュナイダー著『犯罪学 少年刑法 行刑
1976』法研50.5

宮沢浩一「西ドイツにおける少年法制改正の動向」平場還暦記念『現代の刑
事法学（下）』所収

ギュンター・カイザー、井上義隆（訳）「西ドイツにおける少年犯罪の現
状とその対策」罪罰14.2

79

宮沢浩一「少年法制改革の理想と現実——西ドイツの動向を中心として」家
月31.5

宮沢浩一「少年保護法制を外からみれば——西独の……専門家の訪日を終え
て」刑政90.6

森本益之「西ドイツの少年法制と改正動向」関西非行問題研究会編『非行克
服の現場と理論』所収

84

Joachim Bohnert 著、比嘉康光（訳）「少年刑法における刑罰と教育（資
料）」立正法学論集17.4

宮沢浩一「世界の少年法——西ドイツ」『少年非行（法学セミナー増刊）』所

収

〔審判・裁判〕

～66

市村光一「西独少年裁判所法（1953年8月）〈訳〉」家月6.5

最高裁家庭局『西ドイツ少年裁判所法および同法基準（家庭裁判資料42）』

波多野二三彦「西ドイツ少年裁判所法および同法基準について」家月8.10

宮沢浩一「西ドイツ少年法制の現状と将来」ジュリ342

宮沢浩一「西独における年長少年法制の改正動向——少年裁判所法改正の覚え書を中心として」家月18.6

70

宮沢浩一・諸沢英道「少年審判補助機関の成立過程——序論的考察」法研43.5

71

宮沢浩一・諸沢英道「少年審判補助機関の成立過程——序論的考察〔西ドイツを例に〕」家月23.10

72

法務省刑事局訳「ドイツ連邦共和国少年裁判所法（1970年4月1日現在の正文）（資料）」家月24.5

83

比嘉康光「フリードリッヒ・シャフシュタイン「少年係裁判官の状況について」〈西ドイツ「新刑法雑誌」の紹介9〉」警研54.4

〔処遇〕

66

宮沢浩一「クラウス・ローマー「少年裁判所法第105条による年長者の刑法的処遇」（紹介）」法研39.11

73

Peters Karl, 阿部純二訳「若い法違反者の処遇の諸原理 (Die Grundlagen der Behandlung junger Rechtsbrecher)」家月25.7

74

ペータース・カール, 宮沢浩一訳「若年犯罪者の処遇——西ドイツにおける少年刑法改正について(講演)」自正25.2

77

宮沢浩一「社会的処遇の原型——少年処遇の先駆者としての J. H. ウィヘルン」法研50.1

79

Horst Schuler-Springorum, 山中俊夫訳「ドイツ連邦共和国における少年犯罪——その処遇と予防について(講演)」同志社法学30.5

81

宮沢浩一「西ドイツにおける少年犯罪者に対する司法的処遇」罪罰18.4

82

室井誠一「西ドイツにおける少年犯罪と少年犯罪者処遇」刑政93.3

83

斉藤文夫「少年矯正におけるトークン・エコノミー研究の展望」犯罪心理学研究20.1,2

〔施設〕

～66

福田 平「西ドイツのある少年刑務所」法学セミナー28

滝川春雄「個室のある少年院— 1, 2—西ドイツの少年刑務所を見る」法学セミナー125,126

83

香川達夫「ドイツ刑務所見聞録(33.4)——カセル, 少年拘禁」警研54.1,2

香川達夫「少年刑務所〈ドイツ刑務所見聞録37〉」警研54.6

84

平川宗信, 松村 格, 浅田和茂「バイエルン矯正事情—2—ラウフェン=レーベナウ少年施設 (JVA Laufen=Lebenau)」ジュリ823

〔非行対策ほか〕

～66

佐藤佐治右衛門「西独の犯罪情勢——特に少年非行とその対策」ジュリ211
69

植村秀三「ヘンチッヒ：少年のヴァンダリズム (Hentig, H : Der jugendliche Vandalismus, 1966)」犯罪学雑誌35.5

75

ハンス・ヨアヒム シュナイダー著, 宮沢浩一訳「西ドイツの少年犯罪の現況と法改正の状況について」家月27.4

83

Cunter Blau 著, 宮沢浩一訳「西ドイツにおける少年非行の動向と対策」法研56.9

86

武安将光「西ドイツにおける青少年の暴力犯罪と対策」ひろば39.11

87

武安将光「西ドイツにおける青少年の暴力犯罪と対策 (下)」ひろば40.3
加藤久雄「西ドイツにおける青少年犯罪・非行に対する刑事政策的対応——「行為者=被害者=調停」モデルを中心にして」ケ研213

〈フランス〉

〔総論〕

～66

J. シャザル, 山田悠紀男訳『少年犯罪 (文庫クセジュ)』

最高裁判所事務総局家庭局「フランスの少年法 (訳) ——犯罪少年に関する1945年2月2日のオルドナンス」家月11.1

菅原良夫「フランスの少年保護制度について」調研紀要 3

森下 忠「フランス少年法の諸問題」ジュリ341

67～

田尾 勇訳「フランス少年法」家月19.1

森下 忠「フランス少年法の諸問題」および「フランスにおける犯罪少年および要保護少年の処遇」（同『刑事政策の新展開』所収）

森下 忠『フランス少年法』少年法改正資料 8号

71

橘 偉仁「フランスにおける少年保護の展開」罪罰8.1

77

中村 護「フランスの少年法制——少年係判事の役割を中心として」ケ研158
81～86

ステファニー・ルヴァスール・ブーロック・ジャンビュメルラン著，沢登俊
雄・沢登佳人・新倉 修訳『フランス刑事法（刑法総論）』、『フランス刑
事法（刑事訴訟法）』、『フランス刑事法（犯罪学，行刑法）』

恒光 徹「30年を経たフランス少年法の問題点」関西非行問題研究会編『非
行克服の現場と理論』所収

〔審判・裁判〕

76

森下 忠「保護処分 of 事後変更と既判力——フランス法を中心として」ひろ
ば29.10

〔処遇〕

～66

青柳文雄「フランスにおける犯罪少年及び真犯少年の処遇」法研28.11

宮原三男「フランスにおける非行少年の処遇」法律論叢33.5

森下 忠「フランスにおける犯罪少年および危険少年の処遇」岡山大学法経

学会雑誌16.3

67

森下 忠「フランスにおける犯罪少年および危険少年の処遇」家月19.1

72

山田聖都「フランス矯正あれこれ(1)(2)——非行少年の処遇の実情」刑政 83.

11,12

81

森下 忠「フランスにおける犯罪少年の司法的処遇」罪罰18.4

渡辺佳明「フランスにおける少年矯正の近況について」刑政92.9

〔非行対策ほか〕

～66

黒川 慧「パリの青少年ギャングの非行」青少年10.3

藤田初太郎「フランスにおける少年犯罪の概観」青少年11.12

武田慎二「なぜフランスの少年犯罪は少ないか」ひろば14.12

〈スウェーデン〉

〔総論〕

～66

斎藤正躬「スウェーデンの少年保護事業」刑政63.7

牧野英一「スウェーデンの保護法案」刑政（季）6.1

67

坂田 仁「スウェーデンにおける少年法律違反者に対する特別規定 (Lag 20 mars 1964 med vissa bestämmelser om unga lagöverträdare)」

法研40.9

81

坂田 仁「スウェーデンの社会福祉立法——社会サービス法私訳」家月33.11

82

細井洋子「スウェーデンの青少年問題—4—少年非行をめぐる諸制度とその運用」犯非51

84

坂田 仁「世界の少年法——スウェーデン」『少年非行（法学セミナー増刊）』所収

〔処遇〕

74

坂田 仁「スウェーデン王国における少年犯罪に関する人格調査について——スウェーデン留学報告」家月26.4

80

富田正造「スウェーデンにおける更生保護」更生保護31.3

83

前野育三「スウェーデンにおける少年非行と処遇」関西非行問題研究 8

〔施設〕

～66

宮沢浩一「スウェーデンにおける非行少年問題とその対策——少年刑務所を中心として」法研35.8

71

坂田 仁「スウェーデンの少年刑務所と少年福祉学校」法研44.8

〔非行対策ほか〕

64

黒川 慧「スウェーデンの少年非行対策行政機構（上・下）」青少年11.9～10

67

大住猛雄「スウェーデンの青少年非行とその対策」警察学論集20.2

81

細井洋子「スウェーデンの青少年問題(1)——性の解放と「フリーセックス」」
犯非48

細井洋子「スウェーデンの青少年問題(2)——薬物非行の実態とその背景」犯
非49

細井洋子「スウェーデンの青少年問題(3)——少年非行の特徴とその社会的背
景」犯非50

83

黒川 慧「スウェーデンの少年の性犯罪（海外情報）」青少年問題30.9

〈北欧（スウェーデン以外）〉

～66

長谷川 永「ノルウェーの少年犯罪対策」刑政68.6

63

黒川 慧「デンマークの警察ユース・クラブ」青少年10.9

78

黒川 慧「ノルウェーの非行少年の処遇（海外情報）」青少年問題25.4

〈イタリア〉

～66

宮原三男・波多野二三彦「イタリア少年裁判所法〈訳〉」家月9.6

宮原三男「1934年のイタリア少年法」法律論叢31.4

70

関 力「イタリアの少年裁判制度（イタリア刑政紀行—1—）」ひろば23.8

関 力「イタリア少年法制の特色（イタリア刑政紀行—5完—）」ひろば
23.12

74

関 力「イタリア少年法制の運用の実情—1, 2—（ヨーロッパ刑政紀行
—4, 5—）」ひろば27.9,10

〔施設〕

～66

黒川 慧「イタリアの青年鑑別所」青少年12.3

小谷方明「イタリアの少年院と保護観察」更生保護68.12

70

関 力「イタリア刑政紀行―1～4―」ひろば

イタリアの少年裁判制度23.8・アントニオ・ロスキニョ国立医療少年院
23.9・ローマ・レビッピア刑務所23.10・〈ローマからフィレンツェへ〉フ
ィレンツェの少年矯正施設23.11

72

関 力「ヨーロッパ刑政紀行―1―」ひろば25.3

イタリアの保安処分——少年・成人保安処分施設の視察より（付イタリア
対人的保安処分施設一覧）

〔非行対策ほか〕

75

関 力「イタリアの少年犯罪（非行）の処遇及び防止——その理論・立
法・展望」ひろば28.9

〈スイス〉

〔総論〕

66

宮沢浩一「1965年スイス刑法一部改正草案における少年法制の改正につい
て」家月18.3

宮沢浩一「スイス少年法制の現状と改正の動向」ジュリ345

72

森下 忠「改正されたスイスの青少年法制」ジュリ510

138

73

宮沢浩一「スイス少年刑法の改正について」家月25.5

〔非行対策ほか〕

81

宮沢浩一「スイスの少年非行の状況〈刑事政策時評〉」罪罰18.3

〈オーストリア〉

～66

宮原三男「オーストリア少年裁判所法の概要」法律論叢30.5,6

宮原三男「オーストリア少年裁判所法の概要」家月8.11

波多野二三彦「保釈処分とプロベーション——オーストリアの新少年法制」

刑政73.11

佐藤佐治右衛門訳「少年犯罪者の処遇に関する1961年10月26日のオーストリ

ア連邦法第278号——1961年のオーストリア少年裁判所法」ひろば15.3

佐藤佐治右衛門「オーストリアの新少年裁判所法について」ひろば15.5

佐藤道夫「ヨーロッパにおける少年非行——オーストリア少年心理学協会リ

ポートを中心として」警研36.5

84

宮沢浩一「オーストリアの少年非行の動向と少年法改正案」罪罰22.1

〈ベルギー〉

71

森下 忠『1965年ベルギー少年保護法』（少年法改正資料5）

72

森下 忠「新しい社会法としての少年法——ベルギー少年保護法の特徴」判
時677

〈西欧全般〉

〔総論〕

～66

レムキン・ラファエル, 鮫島竜男訳「欧州各国における少年保護の実情」家
月4.7

宮原三男「欧州諸国の少年法と比較法的考察」法律論叢29.6

72

森下 忠「未成年者の強制送還に関するヨーロッパ条約(資料)」家月24.3

76

森下 忠「未成年者の強制送還に関するヨーロッパ条約について(上)(下)」
警研47.11,12

山口 透「西欧における少年保護の動向(資料)」家月28.1

〔審判・裁判〕

61

宮原三男「東西ドイツおよびオーストリアの少年裁判所法」法律論叢34.2

〔処遇〕

81

「少年非行(2)——諸外国における少年犯罪に対する司法的処遇について」罪
罰18.4

大谷 實「イギリスにおける少年犯罪に対する司法的処遇」

森下 忠「フランスにおける犯罪少年の司法的処遇」

宮沢浩一「西ドイツにおける少年犯罪に対する司法的処遇」

83

土持三郎「ヨーロッパ少年矯正の一端をみて」刑政94.7

〔施設〕

140

～66

齋崎 敏「西欧の少年鑑別所を訪ねて（1～2・完）」刑政67.11～12

81

牧野 勝「海外矯正事情〈特集〉——イタリー、フランスの少年矯正施設を
みて」刑政92.4

84

新田健一「抱える悩みはいずこも同じ——フランス、イタリー少年矯正施設
（海外矯正事情）」刑政95.7

〔非行対策ほか〕

～66

宮原三男「欧州諸国における非行少年の取扱の発達」明紀2

飯原久弥「西欧諸国における青少年対策（1～4・完）」青少年10.5～8

桜井保之助「青少年非行について——その趨勢及び非行原因における日・
伊・西独の比較」レファレンス154

武安将光「イギリス・西ドイツ等における青少年犯罪に対する刑事政策とわ
が国との比較」ジュリ169

J. コルニール、敷田 稔訳「ヨーロッパにおける少年非行」罪罰1.3

70

森下 忠「出版の自由と少年の保護——ヨーロッパにおける法的規制」家月
22.1

75

森下 忠「少年犯罪の防止における学校の役割——ヨーロッパにおける実情
と問題点」犯非23

83

萩原康生「世界の少年問題—2—変動するヨーロッパ社会と少年問題」犯非
57

84

宮沢浩一「青少年非行の動向と刑事政策的対応——スイスと西ドイツの状況を中心として」『団藤重光博士古稀祝賀論文集3』所収

〈東欧〉

～66

市村光一「東独少年裁判所(1952年5月)〈訳〉」家月6.5

黒川 慧「ブルガリア人民共和国の非行防止活動」青少年13.9

宮崎 昇「東欧諸国の少年法制—1～6完—」ひろば18.8,9,10,11,12,19.1
68

井上祐司「ポーランドの若年層犯罪対策——犯罪防止および犯罪者の処遇に関する第3回国連会議から」法政研究35.1

75

中山研一「ポーランドの女子少年院をたずねて」刑政86.7

馬場義統「ハンガリー少年刑務所の概況」罪罰12.3

〈ソ連〉

〔総論〕

～66

宮崎 昇「新しいロシアの少年法——少年事件委員会規定について」警察
14.11

宮崎 昇「少年法の動き——ソビエトにおける刑罰観の変遷と少年犯罪対策」警察16.2

宮崎 昇「ソヴェトにおける少年犯罪の原因——ソヴェトの少年犯罪対策(1)
(2)」警研30.10,31.1

宮崎 昇「新ロシア共和国少年事件委員会と少年法の諸原理」ひろば15.1

宮崎 昇「ソビエトの少年事件委員会—1～5—」ひろば19.6,7,8,9,11

67

宮崎 昇「ソビエトにおける少年保護体制—上, 中, 下—」ひろば20.2,3,4

142

68

宮崎 昇「1967年改正ロシア共和国少年時事委員会規定について」曹時
20.5

80

北林章子「ソビエト「少年問題委員会法」の翻訳紹介（上）（下）」関西非行
問題研究4,5

中山研一「ソ連・東欧の非行と少年司法」関西非行問題研究会編『非行克服
の現場と理論』所収

〔処遇〕

75

大住猛雄「ソビエトにおける非行少年の分類と処遇〈海外刑政思潮19〉」刑
政86.5

〔非行対策ほか〕

～66

宮崎 昇「ソヴェトにおける少年犯罪対策——裁判所における取扱を中心
に」ひろば11.4

66～68

宮崎 昇「ソビエトにおける少年犯罪予防活動——制度と実務—1～10—」
警研37.7,9,11,12,38.5,8,39.1.9,40.4

75

松下照雄「ソ連邦における少年非行」罪罰12.1

《アジア》

〈韓国〉

～66

伊東 進「韓国の青少年非行（短報）」レファレンス243

75

森徳次郎「朝鮮総督府少年刑務所終焉の記(1)」刑政86.5

79

Yang Kyun Kim「韓国における少年非行（アジア諸国の犯罪動向と犯罪者の処遇—11—）」罪罰16.3

82

菊田幸一「アジアの少年非行—6—パングラデシュ・大韓民国」法律論叢54.6

84

大島重史「韓国少年犯罪と保護制度」更生保護と犯罪予防18.4

85

西村春夫ほか「日本と韓国の高校生における非行発現率と生活意識の比較」科学警察研究所報告防犯少年編26.1

林 炳淳「韓国の少年保護」刑政96.8

〈台湾〉

～66

黒川 慧「台湾の少年審判に関する法律」青少年10.1

宇佐美和彦・黒川 慧「少年事件処理法（中華民国）〈訳〉」外国の立法2

69

中谷瑾子・許 順安「中華民国少年事件処理法（民国51年1月31日總統令公布）」法研42.8

78

高橋貞彦「中華民国台湾省の刑事政策—2—中華民国の少年法（少年事件処理法）」比較法政13=14

83

頼 保禎「台湾の少年非行について」青少年問題30.9

〈香港〉

68

黒川 慧「香港の青少年矯正事情」レファレンス18.1

77

アロイシア・ウォン, チョン・チャック・ラム, 松原紗千子(訳)「香港における少年犯罪と暴力犯罪の増加と再犯〈アジア諸国の犯罪動向と犯罪者の処遇1〉」罪罰14.1

〈中国〉

81

土井博子・白井典子「中国の少年院と教護院(新中国司法事情'81——婦人法律家訪中記録〈特集〉」判タ32.24

〈タイ〉

~66

最高裁家庭局「タイ国少年法〈訳〉」家月7.7

吉永豊文「タイ国における非行少年の処分について」刑政76.5

鮫島竜男「タイ国の児童少年裁判所構成法〈訳〉」ケ研34

78

スーチンク・ウタイバートルナ, 富田猷生訳「タイ国における少年犯罪者の更生〈アジア諸国の犯罪動向と犯罪者の処遇5〉」罪罰15.1

〈マレーシア〉

76

大住猛雄「マレーシアにおける非行少年の処遇——特に認可学校について〈海外刑政思潮32〉」刑政87.6

〈シンガポール〉

82

菊田幸一「アジアの少年非行ー 8ー補・シンガポール児童・少年法（資料）」
法律論叢55.4

〈パキスタン〉

82

菊田幸一「アジアの少年非行ー 5ーパキスタン」法律論叢54.5

84

ナスルッラ・カーン・チャッタ著、日本法律家協会編集委員会訳「パキスタ
ンの少年司法制度と少年非行問題」法の支配57

〈インド〉

66～

黒川 慧「インドの児童法」青少年10.11

67

黒川 慧「インド各州の非行少年関係立法（M. J. Sethna, Society and
the Criminal, 1964 紹介）」青少年問題14.12

83

菊田幸一「アジアの少年非行ー 9ー1922年ベンガル少年法（資料）」法 律 論
叢55.5

〈スリランカ〉

～66

V. N. Pillai「セイロンにおけるボースタル開放施設の設立について」刑政
73.8

81

原田禎一「スリ・ランカ民主社会主義共和国における矯正・保護」刑政92.5

82

菊田幸一「アジアの少年非行—4—スリランカ」法律論叢54.4

中村一三「スリランカの少年矯正施設（海外矯正事情）」刑政94.9

河野和子「スリランカの少年司法と国連最低基準規則〈犯罪防止・犯罪者処遇の世界思潮10〉」ジュリ852

〈フィリピン〉

セリア・C. ヤンコ著，橋本詔子訳「フィリピンにおける若年犯罪者の地域矯正施設（アジア諸国の犯罪動向と犯罪者の処遇—16—）」罪罰17.4

日野正晴「フィリピンにおける少年刑事司法セミナー」罪罰19.2

菊田幸一「アジアの少年非行—7—補・フィリピン児童・少年福祉法典（資料）」法律論叢55.1

服部 建「フィリピンにおける少年刑事司法の近況——海外合同セミナーに参加して（資料）」家月35.4

〈ビルマ〉

沢田直子（訳）「U. N. リン「ビルマにおける非行少年及び若年犯罪者」〈アジア諸国の犯罪動向と犯罪者の処遇10〉」罪罰16.2

〈ネパール〉

渡辺佳明（訳）「R. K. パンタワ「ネパールにおける青少年非行」〈アジア諸国の犯罪者の処遇6〉」罪罰15.2

〈西サモア〉

80

宝井誠一「ノホアトル・ボウモウ・パバリイ「西サモアの歴史・社会・保護
観察制度」〈アジア諸国の犯罪動向と犯罪者の処遇17〉」罪罰18.1

〈アジア全般〉

82

菊田幸一・辻本義男（監訳）『アジアの少年法1・2』

78

河野和子「アジアにおける青少年犯罪の実情と対策」法務総合研究所研究部
紀要21

79

菊田幸一訳「東南アジアにおける少年非行の比較研究—1,2,3—」法律論叢
51.2=3,4~6,52.1

鈴木一久「アジア諸国における矯正保護」刑政90.3

81

菊田幸一「アジアの少年非行—1—ホンコン・タイ・マレーシア」法律論叢
53.5=6

菊田幸一「アジアの少年非行—2—シンガポール・インドネシア・フィリピン」法律論叢54.1

菊田幸一「アジアの少年非行—3—中華民国・インド」法律論叢54.2=3

82

菊田幸一「アジアの少年非行（4~6）——スリランカ・パキスタン・バン
グラデシュ・韓国」法律論叢54.4~6

萩原恵三「アジアにおける少年非行の現状と少年司法制度」ひろば35.1

85

宮沢浩一「アジアの少年非行と対比したわが国の少年非行」研修448

杉田 就「アジア太平洋地域の青少年問題と刑事司法」ジュリ846

宇都呂英雄「アジア・太平洋地域における青少年犯罪と刑事司法及び青少年団体の役割」警察学論集38.11

田中康郎「アジア・太平洋地域の少年司法制度とその効果的な運営——少年司法運営に関する国連最低基準規則適用の動向〈犯罪防止・犯罪者処遇の世界思潮11〉」ジュリ854

〈イスラエル〉

～66

黒川 慧「性犯罪の児童保護——イスラエルの少年調査官の活動」青少年6.270

黒川 慧「イスラエルの犯罪少年の処遇一上, 下ー (海外情報)」青少年 17.2,3

85

黒川 慧「イスラエルの裁判所による児童監護の決定」青少年32.12

〈アラブ・中近東〉

～66

黒川 慧「アラブ諸国の少年非行対策」青少年11.1

菅野貴恵子要約「中近東諸国における非行少年の取扱いの概観」レファレンス16.12

〈アフリカ〉

～66

黒川 慧「キプロスの少年犯罪」青少年10.2

黒川 慧「セネガル共和国の非行少年処遇職員の訓練」青少年13.4

〈オーストラリア・フィジー〉

～66

黒川 慧「豪州の警察と少年非行（上・下）」青少年9.10～11

84

エツアテ・ブガコト タバイ著、日本法律家協会編集委員会訳「フィジーにおける少年司法制度の概要」法の支配57

86

木村裕三「オーストラリアの少年裁判所制度——サウス・オーストラリア州の少年裁判制度を中心として」名城法学36別冊

〈新興国全般〉

アントニオ・ピーターズ、常井 善訳「新興国における少年非行」罪罰3.2,3

〈国際会議〉

～66

牧野英一「少年問題と国際刑法及刑務会議」警研23.6

「各国提出の少年非行に関するナショナル・ステイトメント」家月9.12

近藤綸二「アジア会議における少年問題」家月9.12

森田宗一「少年非行の予防と少年警察について——国連アジア会議に関連して」警研29.2

小野清一郎「国連アジア会議における少年非行の問題」ジュリ147

レオナルド G. ローレンス、内藤頼博、ゲルハルト・リットマン、クルト・リンドロース「国際シンポジウム——青少年と法と秩序」ケ研109

71

宮崎 昇「第8回マジストレート（少年保護関係者）国際会議」ひろば24.6

78

松下照雄「アジアにおける少年非行とその対策——ローエイシア第5回ソーシャル大会に出席して」罪罰15.2

79

ホルスト・シューラー＝シュプリングホルム、藤本哲也（訳）「国際少年・家庭裁判所裁判官協会——その活動と展望」家月31.7

宮沢浩一「第1回アジア太平洋少年非行会議」罪罰17.2

『第6回国連犯罪防止会議をめぐって』ひろば33.12

沢 新「少年司法——非行前及び非行後の措置／第6回犯罪防止国連会議二議題について〈法の焦点〉」研修377

佐藤欣子「第6回国連犯罪防止会議にみるジュビナイル・ジャスティスの動向」刑政92.2

「刑事司法政策の世界的動向——第6回国連犯罪防止会議（特集）」ジュリ730

松尾浩也「第6回国連犯罪防止会議の概観」

鈴木義男「犯罪情勢及び犯罪防止対策」

佐藤欣子「ジュビナイル・ジャスティス／非行前及び非行後の措置」

芝原邦爾「刑事司法に関する国際連合の規範及び準則／基準設定からその充足へ」

佐藤欣子「ジュビナイル・ジャスティス——第6回国連犯罪防止会議第二課題報告」罪罰18.2

米沢慶治「少年刑事司法に関する最低基準規則策定のための国際専門家会議について（刑事法ノート－54－）」判タ35.6

宮沢浩一「東南アジアの少年非行——第4回アジア太平洋地域少年非行会議にちなんで」犯非65

法務総合研究所国際研修協力部アジア極東犯罪防止研修所「「青少年犯罪の防止における少年刑事司法及び青少年団体の果たすべき役割とその効果的協力関係の確立」に関する国際専門家会議」青少年問題32.8

柏原伸行「青少年犯罪の防止における少年刑事司法及び青少年団体の果たすべき役割とその効果的協力関係の確立」に関する国際専門家会議の開催結果について」青少年問題32.11

宇津呂英雄「少年刑事司法と青少年団体の協力関係——アジア太平洋専門家会議の開催——」刑政96.12

86

宮沢浩一「第4回アジア太平洋地域少年非行会議を主催して」罪罰23.2

宮沢浩一「第4回アジア太平洋地域少年非行会議を終えて」刑政97.3

「第7回国連犯罪防止会議の概要（特集）」ひろば38.11

鈴木義男「第7回国連犯罪防止会議をふりかえって」

米沢慶治「青少年，犯罪，司法〈第4議題〉」

長谷川永・鈴木一久「刑事司法における国連の基準，規範の制定と適用」
ほか

「変動する社会と国際刑事政策（特集）」ジュリ853

宮沢浩一「第7回国連犯罪防止会議の概観／自由・正義・平和・開発のための犯罪防止」

宇津呂英雄・杉田 就「青少年，犯罪及び司法／より公正かつ公平な少年刑事司法の運営をめざして」ほか

〈全般〉

〔総論〕

～66

宮原三男「少年法の比較法的考察」綜合法学4.2

山本晋一「青少年犯罪の実情と少年法制——外国法制との比較と今後の課題を探る」時の法令388

小川太郎他編『少年非行と少年保護』

アメリカの少年法制・イギリスの少年法制・フランスの少年法制・西ドイツの少年裁判所法（少年法）・スカンジナビア諸国の少年法制（少年法）

[(1)はしがき, (2)スウェーデン, (3)ノルウェー, (4)フィンランド, (5)デンマーク]・ソビエトの少年法

宮沢浩一編『世界諸邦少年法制の動向』

松尾浩也「アメリカにおける少年法の動向・補 少年裁判とデュ・プロセス」

柳本正春「イギリスにおける非行少年の処遇」

坂田 仁「スウェーデンの児童福祉委員会」

宮沢浩一「西ドイツ少年法制の現状と将来」「スイス少年法制の現状と改正の動向」

森下 忠「フランス少年法の諸問題」「ベルギーの新しい少年保護法」

宮崎 昇「ソビエトの少年法制」「東欧三国の少年法制——ブルガリア・ポーランド・チェコスロバキヤ」

猪瀬慎一郎「日本の少年法」

中山研一・大谷 実「宮沢浩一編『世界諸邦少年法制の動向』」法研41.6

西原春夫「宮沢浩一編『世界諸邦少年法制の動向』(書評)」法セ146

宮崎 昇「教育主義の拡大強化は世界の大勢か——続少年法の動き—1・2 完—」判時511,512

三井 明「欧米における年長少年の処遇について」家月21.1

木村栄作「児童・少年・青年——比較法的考察を中心として」警察学論集 25.4

「日本の法制度と英米法／刑事法」ジュリ600(松尾浩也「少年法」ほか)

「特集・少年法制のあり方」ケ研131(座談会「少年法制に関する比較法的検討」ほか)

78

山口 透「少年保護の欧米事情〈非行化の心理と少年保護8〉」更生29.10

80

関西非行問題研究会編『非行克服の現場と理論——あきらめるなからの出版』(米, 英, 仏, 伊, 西独, ソ連・東欧, 台湾・韓国)

『昭和56年版犯罪白書——各国の少年非行の実情(アメリカ・イギリス・西ドイツ・フランス)』

83

松村良之「子供の権利〈世界の法社会学〉」法時55.1

84

『世界の少年法』法学セミナー増刊『少年非行』所収

菊田幸一「アメリカ」

宮沢幸一「西ドイツ」

坂田 仁「スウェーデン」

瀬川 晃「イギリス・カナダ」

85

宇津呂英雄「少年司法をめぐる国際的動向(刑事法ノート96)」判タ567

86

須網隆夫「少年司法運営に関する国連最低基準規則について」ジュリ867

〔審判・裁判〕

鍛冶良作「少年裁判所——運用の実態(欧米視察報告書)」自正10.10

〔処遇〕

～66

俵谷利幸「諸外国における青年犯罪者の処理処遇——青年層構想に関連して—1・2—」警研37.9,37.10

「青年の犯罪と矯正(特集)——資料・各国における若年者処遇」刑政77.5

154

宮原三男「スウェーデンとラテン・アメリカ諸国における非行少年の処遇」明
紀3

72

柳本正春『英米における犯罪者処遇』

74

川崎卓司「ボランティア活動と少年矯正〈海外刑政思潮14〉」刑政85.11

76

法務省刑事局「保護処分に関する立法例一覧（資料）」家月28.8

80

CHIANG ENG CHIN「On Juvenile Delinquency and the Relevant
Treatments——Protection of Juveniles」駒沢大学公法学研究6

82

柳本正春「少年非行及びその処遇の国際比較——昭和56年版犯罪白書から」
警研53.3

〔施設〕

～66

佐藤藤佐「欧米諸国における矯正施設の現状」ひろば11.12

79

「新・少年院入門（特集）」少年補導273

斎藤豊治「アメリカ合衆国における少年矯正の動向」

桑原洋子「イギリスにおける少年院制度」

〔非行対策ほか〕

～66

飯原久弥「欧米諸国における青少年対策について（1～4・完）」青少年10.5

～8

網井輝夫「少年保護法制における少年警察の地位」警察14.3

黒川 慧「少年非行の定義をめぐる国際連合の論議」レファレンス118

81

宮沢浩一「刑事法内外の動き—20—少年犯罪・女性犯罪の現状と対策」法学
セミナー316

82

市川敬雄他「国際的視野から見た非行少年」法務総合研究所研究部紀要25

84

萩原康生「世界の少年問題—4—開発途上国の都市における社会変動と少年
問題」犯非59

〈その他〉

～66

H. W. サーストン著, 宮崎清文訳『少年犯罪とその対策』

中尾文策「ユースオーソリチーの制度に付て」刑政62.3

ヘルマン・マンハイム「少年裁判所の手続」家月6.10

キャサリン F. レールート, 最高裁事務総局家庭局訳「今日の少年裁判所」
家月6.11

「少年を取扱う専門裁判所のための基準」家月7.3

沼辺愛一「管轄, インテークおよび社会化された司法〈訳〉」家月7.10

最高裁事務総局家庭局「少年裁判所の理念の拡張」家月7.4

畑下一男「“Das outo-gene Training” の実際」家月7.4

宮崎 昇「虞犯少年制度の再検討」ひろば9.12

S. R. スラブソン, 小和田元彦訳『非行少年を再教育する』法務省矯正局

森田宗一「ジュベナイル・プロベーション——その発展と特質」家月10.7

リュース・ダイアナ「非行少年の人権——少年裁判所の手続に対する1つ
の評価」家月11.11

ポール W. キーヴ, ケネス R. ヤング, 札幌家庭裁判所米法研究会訳「学校
と裁判所との共働」家月14.5

ウィリアム H. シェリダン「少年非行手続における二重危険と裁判権の放棄」家月15.6

F. J. Kelly, 北沢治雄訳「非行少年——それは誰の責任か」調研紀要 3

アレキサンダー P. W.「少年裁判所についての短い再紹介」家月16.8

坂田 仁, M. K. ローゼンハイム編「少年のための司法1962」法研38.8

宮沢浩一他「少年法制の歴史的展開」家月19.5

68

オーマン W. ケッチャム, 山本晋一訳「少年裁判所における法の復帰」家月20.6

オーマン W. ケッチャム, 最高裁事務総局家庭局訳「1975年の少年裁判所」家月20.10

〔目 次〕

アメリカ	108頁
カナダ	121頁
イギリス	122頁
西ドイツ	128頁
フランス	132頁
スウェーデン	134頁
その他の北欧	136頁
イタリア	136頁
スイス	137頁
オーストリア	138頁
ベルギー	138頁
西欧全般	139頁
東欧	141頁
ソ連	141頁
韓国	142頁
台湾	143頁
その他のアジア諸国	144頁
アジア全般	147頁
その他の諸国	148頁

国際会議 149頁

全般に渡るもの 151頁

その他 155頁

〔文献略語〕

家月	家庭裁判月報
警研	警察研究
ケ研	ケース研究
自正	自由と正義
ジュリ	ジュリスト
青少年	青少年問題
曹時	法曹時報
罪罰	罪と罰
犯非	犯罪と非行
判時	判例時報
判タ	判例タイムズ
比雑	比較法雑誌
ひろば	法律のひろば
法研	法学研究（慶大）
明紀	明治大学法制研究所紀要